



心のビタミン No.213



この暑い夏、どう過ごしているだろうか。今回は身体が震え寒くなるように怖い怪談話を……。ではなく、心が冷静になり涼しくなる話題を紹介させて頂きたい。

出張の際に立ち寄った博物館で「特別展 妖怪博覧会〜秋田にモノノケ大集合!」を観た。日本には古来、幽霊やおばけ、妖怪など多様な存在がある。その一つが秋田の来訪神ナマハゲだ。

全国各地から集められた貴重な資料や歴史的な説話に触れて感じたことが。言葉で概念を人に伝えるとき、何かのイメージを示すと相手の心を動かせられる。日頃の行いが悪い人には恐い物語が効果的であろう。

今回の特別展で、以前から心惹かれていた絵図熊野勤心十界曼荼羅である。別名は地獄極楽図であり、天上・人間・修羅・

曼荼羅で心清涼に

餓鬼・畜生・地獄の六道に、仏・菩薩・声聞・縁覚の四聖界と併せ十界が描かれたものだ。

参考図をみると、老いの坂や閻魔王の裁きが見て取れる。この絵解きの図を活用し、人々に道徳や倫理観を指導した。死を考えると生が変わってくるのは間違いない。

映画「もののけ姫」の根底に流れるテーマは、「生きろ」という。あなたの生命や生活、人生は今後どう展開していくのだろうか。

(医師・音楽家板東浩)

